

# Book Review

デンタルハイジーン BOOKS

井上校長の全力講義

## 口の中の病気と口に症状が現れる 体の病気がわかる本

井上 孝 著



Reviewer

丸森英史 Hidefumi Marumori

(横浜市・丸森歯科医院)

B5判, 104頁

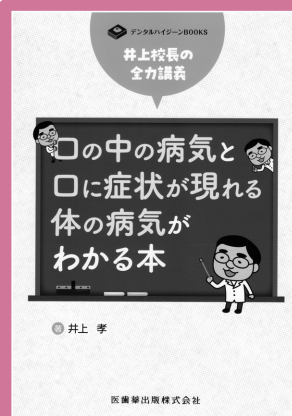
カラー

定価 4,950円

(本体 4,500円 + 税 10%)

医歯薬出版刊

2025年9月発行



この書籍は歯周病やう蝕の原因、関連する話題や、歯科に必要な病気の知識を見開きで、コラムのように解説しています。歯科衛生士が対象の書籍なので理解を助ける図や、短くそれでいて核心をついた解説は、絞り込んだ、わかりやすい表現で書かれています。

また、口腔に関連する基礎疾患を漫画仕立てで解説しています。医療連携をとるうえでも、理解してほしいことを絞り込んで、基礎的な理解を得られるように組み立てられています。

歯科衛生士向けに作られた書籍ですが、一般的な病気の仕組みや、口腔の特殊性、治療や、治ることのメカニズムなど、患者さんにお話する際や、診療室以外でお話する機会に、参考になる表現が拾えます。そのような活動の場をおもちの方にはぜひ参考にしていただきたい書籍です。歯科衛生士との勉強会でのテキストとしてもお勧めしたい書籍です。

難しい病理学の話ではなく、治療や病のメカニズムをザックリ理解できるような構成になっています。口腔上皮の働き、それに細菌たちはどのように

悪さをするのか、また治療のメカニズムや免疫の関わりなど、とかく難しい話になりがちな問題に、絞り込んだ解説は見事です。長年教育現場で蓄積された、わかりやすい授業を模索されてきた成果でしょう。まさに井上校長の全力講義です。

バックグラウンドは病理学者としての井上 孝先生です。本書の挨拶文にあるように、昔は病理学とは病気になる原理を理詰めで積み重ねた、難解で、息が詰まるような取っ付きにくさ溢れた領域でした。そこに魅力を感じ、面白みを見つけ、それを伝えたいとの思いで執筆されたのでしょう。

昔何度か雑誌の企画で一緒にしたこともあるのですが、科学者という緻密さをもたれた先生という第一印象でした。一般病理学のうえに積み重ねられた原理から、口腔の仕組みを解説される様は、これぞサイエンスという趣でした。

その口腔病理専門医として医療に従事されながら、研究や教育に関わられたキャリアに基づく、伝わることを大事にした著書です。その、バックグラウンドが十分に生かされた内容の書籍

です。

その分野の専門家であることと、的確に伝える技量はどうも別の才能のようです。細かく、広く解説するのではなく、芯の部分をも的確に掴み、わかりやすい言葉に集約するのは、学びたい人にとって、適切な指南書になります。

病気の解説はどうしても難しくなりがちです。間違いなく伝えようとすれば、逆にわかりにくくなり、「結局それで、なに？」と言われることになりがちです。

一方でわかりやすさには、落とし穴もあります。わかったつもりの時があるのです。読者の頭の中で「そういうことか」と「。」をつけ、それ以上考えることを止めてしまうのです。概念を掴んだ後では、細部は自分で広げていく必要があるのです。ざっくりした大枠を理解したうえでなら、それを元に詳細な書籍を探る気も気持ちも湧くでしょう。もっと理屈も知りたくなるでしょうし、最新の研究も知りたくなるでしょう。

まずは原理原則を掴む、その入り口として活用できる書籍です。